

セメント46ヵ月連続減と相次ぐ値上げ表明 — 建設コスト増の波紋 —

最新動向：46ヵ月連続前年割れ、供給制約による深刻な工事停滞

セメント協会の最新発表によると、2026年6月の国内セメント販売量は254万2000トン（前年同月比1.3%減）となり、46ヵ月連続の前年割れを記録しました。2026年4～6月期累計でも721万4000トン（同5.5%減）と低迷が持続しています。同協会は2026年度の通期需要見通しを3000万トンと試算しており、1963年度以来約60年ぶりの低水準となる見込みです。

この長期低迷の主要因は需要激減ではなく、深刻な「現場の施工遅延・停滞」にあります。都市再開発や能登半島地震の復興工事、整備新幹線延伸など案件自体は豊富ですが、電気・空調等の専門人材不足や職人の高齢化、物流費高騰が響き、現場の工程調整が著しく難航しています。普通セメント卸値も最高値圏で高止まりしており、工事進捗の大きな障壁となっています。

来春3,000円/t 値上げ表明：生コン・建設業界への波及と増大するコスト

需要低迷と原料高の挟み撃ちにより採算が悪化する中、セメント各社は設備維持と収益確保に向け、来年4月より「1トン当たり3,000円」の値上げ方針を相次いで表明しました。これに即座に呼応する形で、各地の生コンクリート協同組合でも原材料高や輸送費・労務費の上昇分を転嫁するため、来春からの大幅な販売価格引き上げを打ち出しています。

この連鎖的な値上げは、建設業界全体のコストを一段と押し上げます。ゼネコンや住宅メーカーは予算調整や施主との価格交渉（スライド条項の適用等）に追われ、予算オーバーによる発注延期や建築計画の見直しの増加が懸念されます。セメント各社が国内生産拠点の再編（トクヤマの設備停止、UBE三菱の九州工場停止・リサイクル転換など）や脱炭素・海外展開を急ぐ中、サプライチェーン全体で工期見直しと価格転嫁を早期に進め、コスト高時代に適応した体制を築くことが強く求められています。

需要低迷と価格高騰が同時に進行する構造は、建設サプライチェーン全体に大きな試練を与えています。従来型の量頼みビジネスから脱却し、適切な価格転嫁と施工効率化を進め、持続可能な協力体制をいかに再構築するかが問われています。

会 計 検 査



『公共工事と会計検査』の改訂8版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎(いちかわ けいじろう)氏は昭和19年生まれ。
元会計検査院 国土交通総括検査室長を務められていました。

会計検査こぼれ話：良くできていたらほめてください

会計検査院の人は指摘する時は大変厳しいけれど、私どもの仕事が良くできていたときは何もいません。検査した結果、指摘事項もなく良くできていたら、そのときには一言ほめて頂けないですかね。そうすれば私どもも、日頃から検査で指摘されぬようがんばってきた甲斐があったと随分励みになるんですが「こんなことを、受検庁の人にいわれたことがあります。「検査対象の仕事が良くできていたらほめる」一見当たり前のことのようにですが、これがなかなか簡単ではないのです。

私自身が実地検査に出たてのころのこと。1日の検査が終わり、宿舎の副長の部屋でその日の検査結果を報告しているときです。少し上の先輩が「今日一日こういう検査をしたが特に問題はなかった」旨の報告をしました。すると副長はその先輩に「ところで、君は今日△△の現場で大変良くできているとほめたそうだね」「はい、よその現場に比べ良くできていたものですから」と先輩が答えてから、副長の長いお説教が始まりました。その日調査官にほめられたという報告が、副長に同行していた県の課長にも伝わり、課長が車の中で副長にしゃべったらしいのです。

副長のいい分によると、検査の限られた時間では、検査対象の細部にわたってまで検査できるわけではなく仮に検査した箇所が良くできていても他にどんな瑕疵が潜んでいるかもしれない。それに相手はその道の専門家だが、我々は素人である。また、我々は試験官ではなく、相手の仕事の中から問題点を見つけ出すのが仕事なのだ云々というもので、さらに、副長は、酔いも手伝い、相手をほめるにはまだ10年早いなどと厳しい口調でした。

そんな経験をしたことから、永らく私は検査ではほめてはいけないもの、ほめるとしてもベテラン調査官になってからと思っていた。しかし、年も重ねたせいか、かつての副長のいい分に大分疑問を持つようになりました。良くできていたら(と思ったら)率直にほめて良いのではないか。検査していない箇所でも不都合なところが出てきても仕様が無い。検査も所詮人間がするもの、検査する側にだって完全はありえない。検査する側と受ける側の溝をもっと埋めて、両者が率直で前向きな関係になることの方が大事ではないか。そもそも、検査は指摘が目的ではなく、指摘がなくなるようにするのが目的のはずです。(K)



レオ

ちゃんの製品紹介コーナー



◆◇ ガードレール基礎 『プレガードⅡ』 ◇◆

こんにちは！ライオン通信のレオちゃんです♪



今月は、ガードレール基礎「**プレガードⅡ**」をご紹介します！

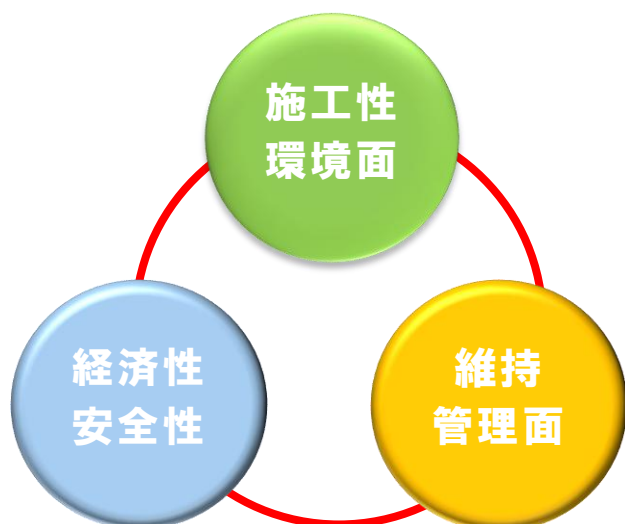
プレガードⅡは、現場打防護柵と比較し、施工性・経済性・安定性・維持管理面で優れた製品です。

プレガードⅡが製品化されてから、今年度で25周年を迎えます。
中国管内の納入総延長は240kmを超えました。

今月は、プレガードⅡの特長と施工方法をご紹介します☆
ぜひご検討ください^^♪



特長(現場打防護柵基礎と比較した場合)



施工性・環境性に優れます

- ◆ 7割の工期短縮
- ◆ L型擁壁背面に設置した場合は調整コンクリート不要
- ◆ 軽量だから小型機械で施工可能
- ◆ 型枠不要による廃棄物処理が減少
- ◆ 工期短縮、施工機械半減によるエネルギー抑制
- ◆ カーブ施工及び縦断施工が可能

経済性・安全性に優れます

- ◆ 現場打ち構造と同等以下の経済性
- ◆ 連結による一体化で軽量化を実現
- ◆ 静的実物大実験により性能を確認
- ◆ 設置時の効率アップ



L型擁壁上部

維持修繕にも最適です

- ◆ 既存擁壁のガードレール取替え時に天端から0.5mの修繕で対応可能
- ◆ プレガードの取替えが発生した場合は、部分的な取替えが容易



大型ブロック上部(NSSブロック)



盛土上部



補強土壁上部(スーパーテールアルメ)

施工方法

① 基礎工

砕石厚 100mm、敷きモルタル
均しコンクリート 100mm を標準とします。

② 製品のつり込み状況

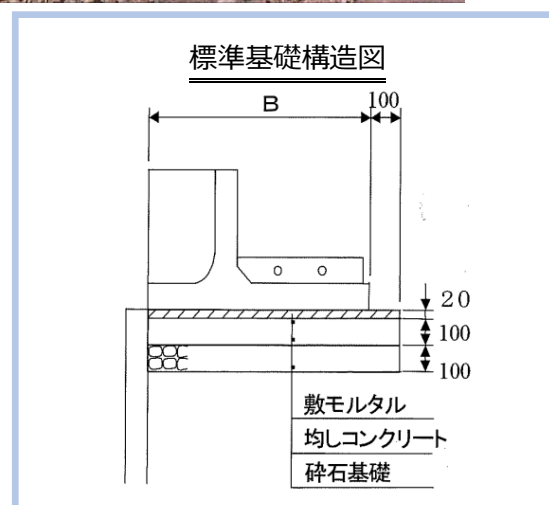
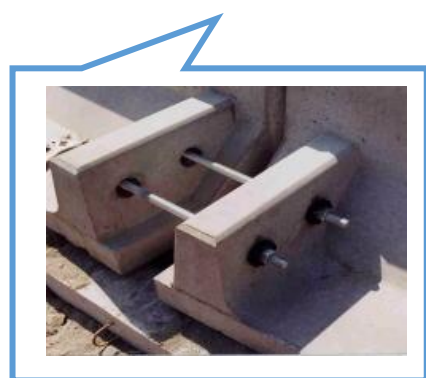
側壁や底版部材に過度の応力が発生しないように
留意し、運搬時には、過度の衝撃を与えないよう
に注意して下さい。

③ 製品の設置

据え付け用の丁張りを設置し、丁張りに沿って
所定の位置、高さで正確に設置して下さい。

④ 連結金具接続工

連結ボルトを製品両側に通し、樹脂ナットを締め
付けて下さい。
その後、六角ナットの締め付けを行って下さい。



⑤ 間詰コンクリート打設

間詰コンクリートの目的は、連結筋の固定であり
開口部まで入念にコンクリートが行き渡るよう行って下さい。

プレガードⅡは、ブロック積上部に使用する際には緩衝材（ゴム）と発泡スチロールを併用する構造とすることで分離構造となり、鳥取県の「小構造物標準設計図集」設置条件に適合しています！

※分離構造…車両がガードレールに衝突した際、ガードレール下の構造物（補強土壁やブロック積）に影響が出ないように、ガードレール基礎と構造物を分離する考えのこと。

その場合は、緩衝材部分の底面摩擦は考慮しないので、ブロック積擁壁とプレガードの設置位置によって製品の底版幅(控長)サイズが変わる場合があります。
ご検討の際はご相談ください。

